

「大地が奏でる四重奏」

～農業生産法人 株式会社相川ファーム～



【開催日】平成30年6月27日

【講師】農業生産法人株式会社相川ファーム 代表取締役 菅 忠一郎氏

【会社概要】 さくらんぼやコメ、ネギなどを栽培する農業生産法人。原料から加工、販売まで、一貫して自社で手がける。代表取締役の菅忠一郎氏は、真剣に農業に取り組む姿勢と、明るく個性的な人柄で、多くの人を惹きつける。今も「忠さん」を慕って、関東近辺などから現役女子大生が訪れるほど。

■ゆるぎない強い信念で、即行動

さくらんぼ導入のきっかけ。それは、従来の農業スタイルを変え、複合経営による通年収入の安定化を目指したい、とする強い思い。

視察させていただいたさくらんぼ農園は、もともと杉苗を植えていた土地だったのですが、今から約30年前、夏の暑いさなか、近くから購入した山土を、奥様と二人で一輪車で運び入れ、盛り土したのだそうです。



女性に、特にやさしい
ジェントルマン



■「ピンチは、チャンス」



さくらんぼで唯一、果肉が色づく品種「紅さやか」。
(写真左：紅さやか)
(写真右：微発泡ワイン「さくらんぼの、あわ」)

普段は、主力品種「佐藤錦」などの受粉樹として活躍する名脇役だが、さくらんぼワインでは一躍主役に！

たわわに実るさくらんぼ。「あのとき二人でかいた汗が、いま、見事なさくらんぼに実った」と笑顔で語ってくださいます。

が、ここまでの道のりは、決して平たんではなく、最初はさくらんぼの7割が枯れてしまうなどのアクシデントに見舞われたそう。

また、さくらんぼを原料にしたワインを製造するに至った経緯や、出来上がるまでの紆余曲折。思いを成し遂げたときの感動、原動力となる顧客のうれしい反応などを教えていただきました。

忠さんのすごいところは、まさに「ピンチは、チャンス」の言葉のとおり、徹底的に原因を究明し、自分の目標に突き進むとする強い信念。…これが、強さの秘密です。



新商品「さくらんぼのしずく」は、紅さやかなほんのりとした色づきが売りの、本格ロゼ仕込み。

- ① アイデア実現のためには**スピード感**が大事。
ビジョンさえ明確であれば、芯がぶれず失敗も少ない。
- ② 積み上げ方式で進めるのではなく、**最初に明確な目標を定めて深掘り**していく。
- ③ ブランディングの上で、**キャラクターづくり、そして背景となるストーリー**は不可欠。
- ④ 人的ネットワークは生命線。
特に、**行政には積極的に情報を取りに行く**。
- ⑤ 言いにくいことを伝えてくださる**顧客の声を真摯に受け止め、次に生かす**。日々進化することこそ、**大事**。
- ⑥ **働き手は会社の財産**。女性が増えれば、家族も増える。女性の雇用の場を確保し、人口減少に少しでも歯止めをかけたい。
- ⑦ どの企業にもある、強み、弱み。
管内企業が互いに補完しあうコラボレーションを目指せたら最高。

■ 参加者の感想

・語られた言葉は極めてシンプルだが、全てが繋がっている。力強さを感じた。

・さくらんぼと発酵、地域文化が結びつく着想力が素晴らしい。

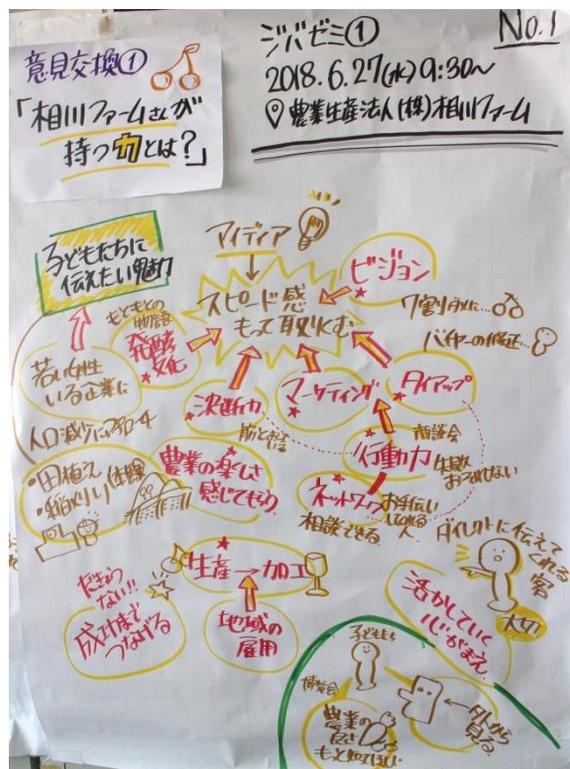
・失敗するかどうかの前に、まず行動すること。そして、その行動力の中に、相談できるネットワークが形成されていること。直接バイヤーに足を運ぶフットワーク力など。全てに感嘆した。

・商品のターゲットが明確。また、さくらんぼワインに向かうときの決断の流れと速さ。全て筋が通っていて、先を見ているところが素晴らしい。

・生産から加工までの一貫生産の中に、元気な高齢者や女性の雇用など、地域振興までを考慮されていることに驚いた。

・一次産業から加工まで、決して妥協を許さない。
折れずに信念をもって、最後まで目標につなげようとする探求心とこだわりで脱帽。

・普段、社長と顔を合わせることはあっても、これほどまとまった話を伺ったことはなかった。
この企画に参加できて本当によかった。



相川ファームさんが持つ力とは、何か。
参加者全員で意見交換しました。

株式会社相川ファーム様、そして参加してくださいました皆さま。
ご協力いただきまして、本当にありがとうございました